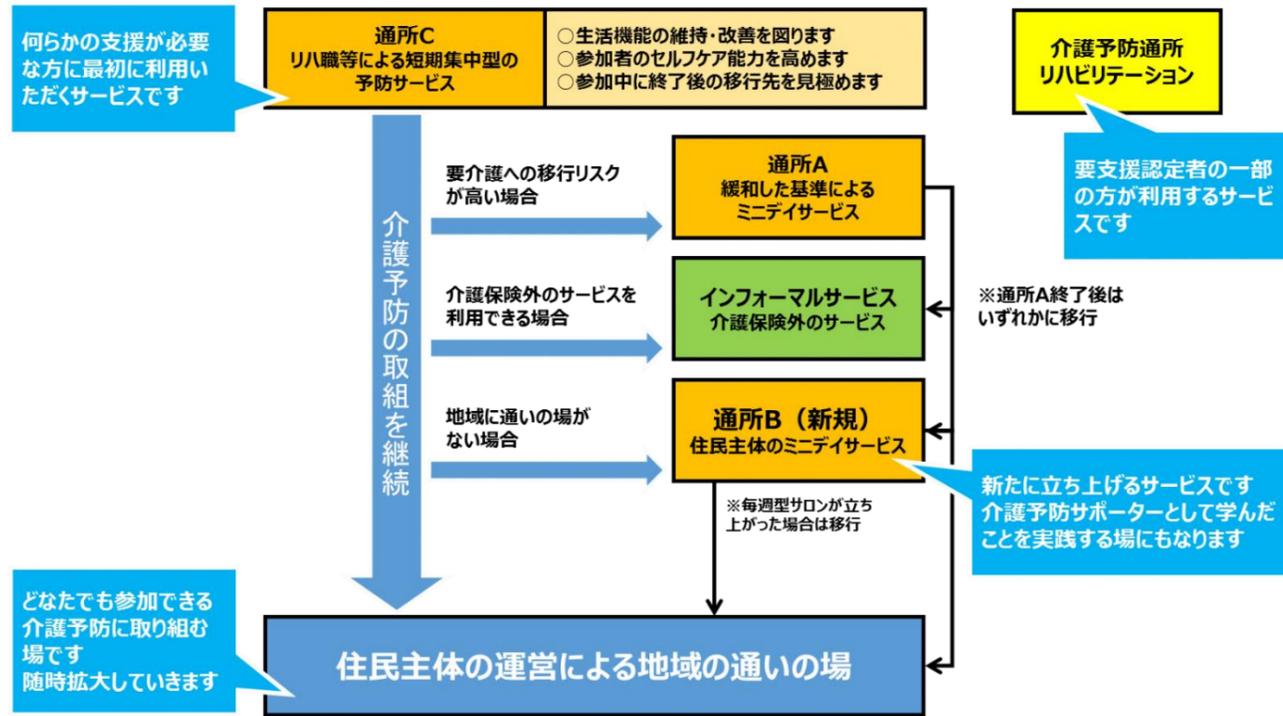


●介護予防に取り組む場のイメージ

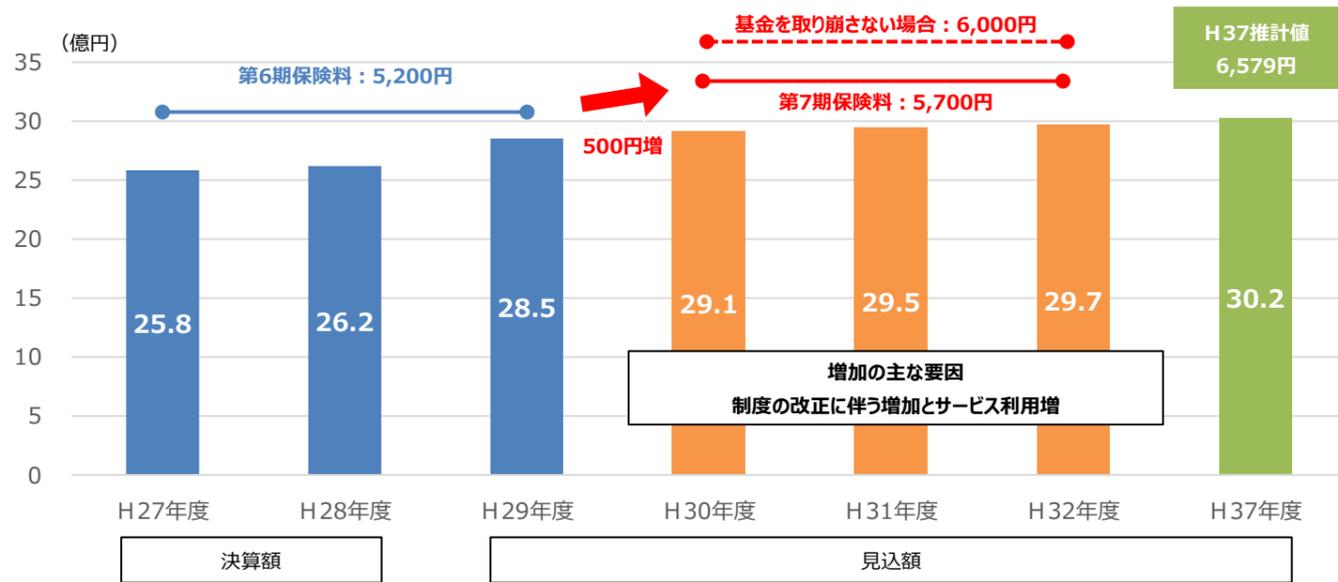


●第7期の第1号被保険者の保険料基準額

介護保険サービスの総給付費は、3年間で約89.3億円となる予測です。

第1号被保険者の保険料基準額は、月額5,700円(500円増)となります。

総給付費の推移と将来予測



阿蘇市高齢者いきいきプラン平成30年度～平成32年度(第7期) 概要版
発行 阿蘇市役所
〒869-2695 熊本県阿蘇市一の宮町宮地 504 番地 1
電話 0967-22-3111 (代表)
発行日 平成30年3月

阿蘇市高齢者いきいきプラン

平成30年度～平成32年度(第7期)

概要版

基本理念

一人ひとりが主体的に参加して、自助・互助・共助の仕組みを確立し、いつまでも安心して生活できる地域づくり

基本目標

市民誰もが、高齢になっても自分らしい暮らしを継続できるよう、自助・互助・共助の仕組みづくりに主体的に参加して、いつまでも阿蘇の地で安心して生活できる体制を確立する

基本施策1

生涯現役社会の実現と健康づくりの推進

基本施策2

認知症高齢者の支援

基本施策3

住み慣れた地域で生活するための環境づくり

基本施策4

医療と介護をはじめとした地域の多職種連携体制の構築

基本施策5

地域包括支援センターの機能強化

基本施策6

地域支援事業の推進

基本施策7

保険者機能の強化

基本施策8

介護保険事業量の見込み及び保険料の設定

基本目標9

んがつながら 創りだす 新しい阿蘇
～ ONLY ONE の世界へ～

●計画の目的

本市の特性を活かした**地域包括ケアシステムの深化・推進**と介護保険事業の円滑な実施

●計画期間

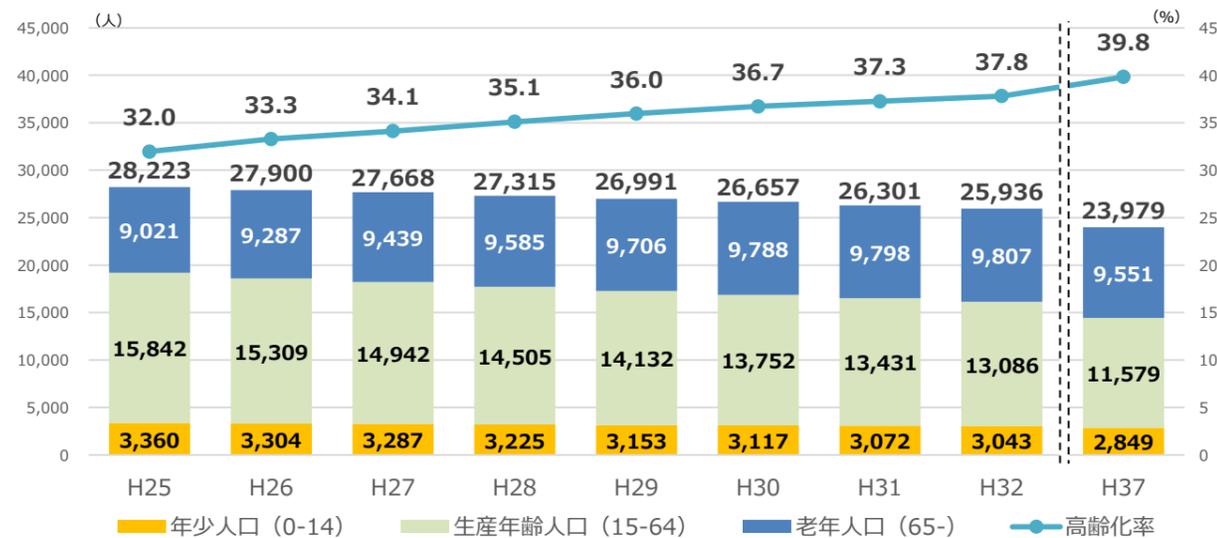
平成 30 年度（2018 年度）から平成 32 年度（2020 年度）までの **3 年間**

●計画の背景

本市の総人口は減少傾向にあり、平成 29 年 9 月末時点で 26,991 人となっています。高齢者人口は平成 32 年にピークを迎え、その後減少していく予測です。

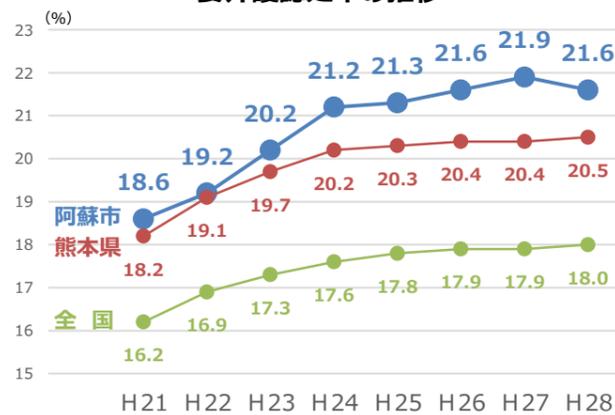
介護予防に取り組む方を増やしていくことで、健康寿命の延伸と高齢者の自立支援・重度化防止を推進していきます。

人口の推移と将来予測

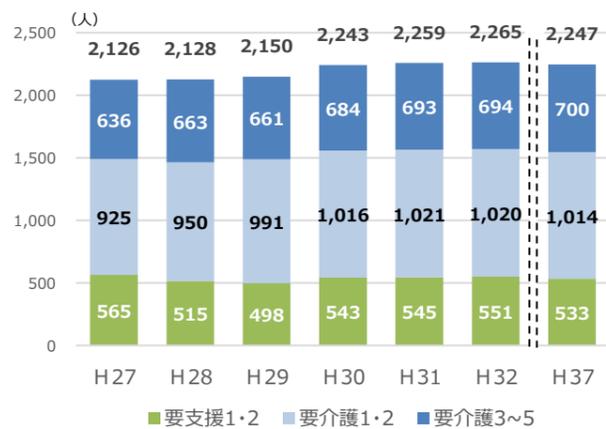


資料：独自推計（平成 24～28 年の各年 9 月 30 日の住民基本台帳から男女別・1 歳階級別の変化率を用いて算出）

要介護認定率の推移



要介護認定者の推移と将来予測



※要介護認定率 = $\frac{65歳以上の要支援・要介護認定者数}{65歳以上の高齢者数}$

●地域包括ケアシステムの早期実現

高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、地域包括ケアシステムの早期実現を目指します。

阿蘇市の課題

- 認知症施策の充実
- 毎週開催型の介護予防の場の拡大
- 前期高齢者における介護予防の推進
- 地域住民の互助による見守り体制の推進
- 生活支援サービスの拡大
- 限られた専門職が、要介護認定者を中心とする支援にシフトしていくための仕組みづくり（介護予防サポーターの活用）
- セルフケア・セルフマネジメントの定着

本市独自の地域包括ケアシステムの構築

第 7 期における重点的な取組

通いの場における自助・互助の推進

- 毎週開催される住民主体の通いの場づくりを積極的に拡大していきます。
- 介護予防サポーター等が主体となって提供する新たなミニデイサービスを位置づけます。

介護予防・生活支援サービスの担い手づくり

- 介護予防サポーターやボランティアを育成し、担い手の拡大に取り組めます。
- 積極的にお住まいの地域の通いの場の運営に取り組むことができるよう、フォローアップ体制の充実を図ります。

認知症施策の充実

- 認知症の早期発見・早期対応の充実に取り組めます。
- 認知症に係る医療・介護の連携を強化します。
- 「認知症カフェ」を圏域ごとに設置します。
- 高齢者の虐待防止と成年後見制度の利用促進を図ります。